



町民の声

12月議会を傍聴しての感想

樋口 勝也 さん（七日町 82歳）

初めて傍聴席に座って参加しました。どんな一般質問や答弁がなされるのか大変興味がありました。どの質問も、現在の金山町の現状を的確にとらえており感心しました。

デジタル社会において高齢者が暮らしやすく生活するための方策、今後の農業のあり方はどうあるべきか、現在抱えているグリーンパレー神室の事やマルコの蔵を中心にした観光のあり方、そして直前に控えた町制100周年事業など、議員さん方の日常活動が伺われる質問内容でした。

それに対して町側の答弁がそつなく行われておりましたが、どれぐらい実行されていくのかが知りたくなりました。広報活動や議会だよりなどで随時途中経過を評価し町民に知らせていくことが大切に思いました。

金山町は現在、町制100周年の記念事業を計画していますが、私たちも100年時代を迎えようとしております。同時に金山の誰しもが高齢の時代に入っていくようになります。

高齢になっても金山町に住んで良かったと思うことが望みです。現在、老人クラブの視点として一人暮らしの方々が毎日の生活の中で有意義に過ごせたと思えるようにしたいと考えております。大切なことは人との交流が必要だと考えます。孤独が心を蝕んで病をもたらすともいわれています。

毎日の生活の中で人との交流や絆づくりが大切だと思いますし、高齢者が町のために役立つことも必要だとも考えます。

このようなことも議員の皆さん方も議題にしてくれることがあれば良いと思います。

※いただいたご意見につきましては、議会活動に反映して参ります。



12月19日（火）に神室スキー場安全祈願祭が行われた。
今シーズンは、土曜、日曜、祝祭日、年末年始に限定した営業となるが、12月29日には、まとまった量の積雪があり、待望のオープンとなった。
1月10日には、沖縄中部広域市町村圏事務組合と最上広域市町村圏事務組合の交流事業で来県している沖縄県の子童約60名がスキーを楽しんだ。

本号の表紙

3月議会定例会は3月5日(火)～12日(火)の予定です
町民の皆様の傍聴をお待ちしています

日程は近くなりましたら町ホームページ内の議会ページでお知らせします。

ギンラン No.3

雪の少ない正月となり、町民の皆様には喜んでいらっしゃる、期待外れとの声も聞かれ、複雑な思いが交差する。

更には、全人類を悩ませた「新型コロナウイルス」も五類に移行して、四年ぶりに穏やかな正月を過ごされたと察する。

また、物価高騰で大変心配される生活費の上昇も高止まりではあるが、令和六年前半の、食料品値上げペースは、鈍化傾向にあると予想される。

そして、令和七年一月一日、町制施行一〇〇周年、「東北中央自動車道」新庄金山道路の供用など、記念すべき大事業が重なる。行政・議会が一体となり次代を見据えた見識ある町づくりに努めたい。

（文責・矢口 政一）

発行責任者

■議会議員

栗田 保則

■議会広報常任委員会

委員長 星川 智子
副委員長 中村 忠行
委員 大場 洋介
五十嵐 優一
宮林 聡志